

平成27年度 学校評価書

I 経営の重点に関わること

学校名： 静岡市立高等学校

1 学校教育目標：「質実剛健」の気風を継承し、校訓「正しく、強く、明るく」を基に、「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた創造的な人間を育成する。		自己評価	学校関係者評価委員会から			
2 重点目標 「土曜授業」を通して、 (1)授業・部活動、家庭学習の時間の確保 (2)地域や保護者に開かれた学校づくりの推進 (3)教職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)に配慮した校内体制の整備を推進する。	(1)授業・部活動、家庭学習時間の確保	①適切な土曜授業を設定しつつ、授業・部活動・家庭学習の時間を適切に確保する。【教務課】	A	A 土曜授業が定着し、調和のとれた学校・家庭の生活ができつつあり、それが学校の勢いをつけているように感じる。 また、土曜授業の効果を検証する。		
		【学校説明】 生徒の学力をつけるために、授業日数及び授業時間の確保に留意し、土曜授業実施により年間の授業日数は増えた。無理なく授業・部活動・家庭学習ができるように行事予定も工夫をした。	B		②自他を尊重する態度や行動を育むよう、効率的で計画的な部活動の推進を図り、リーダーを育成する。【生徒課】	
	(2)地域や保護者に開かれた学校づくりの推進	【学校説明】 日々のHR活動、行事、生徒会活動、部活動を仲間意識を育て、人間関係を構築させる場と位置づけた。部活動で培ったことを学校生活に還元出来たかという点では物足りなさがある。		A	B 学習と部活動の両立を目指し、部活動で豊かな人間性を育みたい。 グラウンド改修は、多少なりとも部活動に影響があったように感じる。	
		①土曜授業等を通して、開かれた学校づくりを進める。【管理職】	A			A 土曜日の公開授業は、多くの来校者を呼び、開かれた学校づくりが進んだ。また、教員も見られるということで、授業改善も進んだと思われる。多くの方に高校の実態を知る良いきっかけになっている。
		【学校説明】 年間8回の公開土曜授業を実施し、延べ2,300人ほどの来校者があった。施設・設備、授業を行う教師、授業を受ける生徒の様子などを多くの中学生や保護者の方々に見学していただいた。また、土曜授業の「お知らせ」とともに、科学探究科をはじめ、本校の教育活動を適時にホームページに掲載し、広報に努めた。				
②ホームページや学校案内、パンフレット、チラシ等により、学校行事を積極的にアピールする。【情報課】	A	A 市高の最新の教育内容と教育への真摯な情勢を訴えることができて良かった。ホームページは、本当に良く出来ている。				
【学校説明】 学校行事では写真を撮り、内容を紹介する文書を作ってWebページに随時公開した。また、撮り溜めた写真を使って授業公開のパンフレットやチラシ、学校案内を作成して配布することにより地域や保護者をはじめ、中学生やその保護者にも学校を知ってもらう機会を提供できた。	A		A 勤務の振替を取得しやすくなるのは、教員の健康管理のためにも大切。割振りをしつかりと考えて、教員の負担がかからないように工夫してほしい。			
(3)教職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)に配慮した校内体制の整備を推進する。		①時間割を工夫するとともに、勤務時間の調整を行い、各自が適切に勤務の振替を取得するように配慮する。【管理職】		A	A 部活動などに使える時間が増えたことについて、今後も良い事ばかりなのか、見守りが必要だと感じた。公式試合等との計画性が大切。	
②土曜授業実施に伴い、授業時間の確保に配慮する。各学年で行う学習時間調査を検証し、部活動や家庭学習の確保状況にも配慮する。【教務課】	A	【学校説明】 勤務の振替を取得しやすくするため、午前・午後にとまとった授業の空き時間を確保するよう授業時間割を工夫した。また、長期休業時にまとめ取りができるよう推奨日を設定し調整した。今後更に取得しやすい環境設定ができるよう整備していきたい。				
		【学校説明】 授業時数については、前年とほぼ変わらない時数を確保している。土曜授業実施により平日は6時間目までの日が増えたので、放課後は部活動や面談、課外等ゆとりを持って行うことができるようになった。				

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から				
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	①規則正しい生活習慣を定着させ、学習活動や部活動に積極的に取り組む調和のとれた高校生を育成する。【各学年】	A	A 市高生は、とてもバランスが良いという声を聞いた事がある。生活指導もうまく行って頂いていると感じる。各学年の組織的な取組によって、落ち着いた学習態度が醸成されているように感じる。さらにきめ細やかな工夫された指導を期待する。				
		【学校説明】 [1年部] スタディレコード(学習記録)を継続的に記入させ、正副担任でチェックし適宜指導を入れるように勤め、生活リズムを整えさせる工夫をした。	A		【学校説明】 [2年部] 欠席遅刻は1年次よりも増加したが、落ち着いて生活できている生徒が多くなった。また、進路を考えた学習活動に取り組む生徒が増えてきている。			
		【学校説明】 [3年部] 1年次より継続している登校指導を通して挨拶運動や服装チェックを行うことができた。また、部活動引退前の期間は学習時間調査を綿密に担任が行い、受験生としての自覚を持って部活動へ参加させることができた。						
		②学習や生活習慣等の初期指導の徹底及び3年間を通して学習活動を含めたキャリア教育を充実する。【各学年】			A	A 大学のカリキュラムの中身を吟味し、将来なりたい職業に就くためには、どの専門領域を選べばよいか、その手助けを担任は、さらに進めたい。進路指導に対しても、学校への信頼があるので、落ち着いた学習姿勢につながっていると感じる。		
		【学校説明】 [1年部] BFの時間を活用し、様々な進路に関する情報を提供しつつ、自分の将来像に向かって生徒が積極的な取り組みができるよう心がけた。			B		【学校説明】 [2年部] 総合学習を通して、また出張授業、学部学科説明会等に参加することによって、将来の自分について模索しながら、進みたいと思う方向を考えさせることができた。	
		【学校説明】 [3年部] 総合学習の時間(BF)を活用して最新の進路情報を生徒達に伝えた。また、複数回の面談指導を行うことで生徒一人ひとりに対するキャリア教育を実践することができた。						
		③シラバス等を活用した授業の習熟度や進捗度を確認し、新しい教科指導法等も研究する。【教務課】					B	A 「シラバス」に基づいて授業を進めることが、生徒自ら計画に学習が進められるため、生徒の学習意欲等の向上にもつながると思う。
		(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】			①社会貢献活動(ボランティア)や地域社会に積極的に参加する生徒を育む。【生徒課】	【学校説明】 感謝の気持ちを行動に移す意識を持たせることを行った。部活動によっては、実際に地域のボランティアに参加したり、エコキャップ運動に参加した。また、日頃部活動で使用している活動場所の整理整頓、清掃等を行った。	A	A ボランティアは多いに参加してもらいたい。部活動とボランティアの活動が出来る環境があると、進んで取り入れてもらいたい。
						③特別活動の充実 【市共通項目3】	①学校行事やHR活動等において、生徒が主体的に活動する機会を増やし、仲間意識を育てる。【生徒課】	A
		2 生徒指導			(1)一人一人を大切に した指導 【市共通項目4】	①清々しい挨拶ができ、品位ある身だしなみ、正しい言葉遣いが習慣化した生徒を育成する。【生徒課】	B	B 挨拶や身だしなみは、教師に言われなくても出来るような生徒になってほしい。学校外でこちらから声をかけると、気持ちの良い挨拶が返ってくる。
【学校説明】 毎朝の昇降口指導で、生徒への声かけ指導をしている。教員に対する挨拶等は出来ているが、来客等外部の人への挨拶、一部身だしなみの意識が低い生徒がいる。								
3 進路指導	(1)進路指導の充実	①課外学習及び勉強合宿等の円滑な運営と改善、模擬試験及び実力テスト等の効果的活用と改善を進める。【進路課】	A	A 計画的に指導され、チャレンジする生徒、確かな学力をつけた主体が育っているように思われる。				
		【学校説明】 3年次の放課後課外や夏季講習など、多くの教科から協力が得られた。一般課外からアドバンス講座まで、また個別指導による学習支援も行った。年間3回行う実力養成テストは、自学自習の学習習慣をつけることと直後に行われる模擬試験を意識して学習し、学力をつけるように実施した。	A		②将来を見据え、各自の進路実現に向けて努力する生徒を育成するため、生徒・保護者への進路情報の提供及び進路面接を充実する。【進路課】			
		【学校説明】 本校では生徒との面談に低学年時から力を入れている。保護者を含めた面談も早期に行い、最上級生になると面談の姿は日常である。生徒の進路希望を大切に、多様な選択肢を提示するとともに、生徒自身が情報収集する力をつけるような具体的な助言等を行った。						
		A	A 生徒一人ひとりにあった進路指導で、生徒が主体的に進路を選択できる能力を、さらに培って欲しい。今後、大学を卒業し、地元に戻って活躍する人材を育てることを期待したい。					

4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①防災教育や交通安全教育を推進し、生徒自らが安全に行動する力を育成する。 【生徒課】	B	B	自分の命は、自分で守る。そのために交通安全や災害への対応が自分でできるようにさせたい。交通事故が0件になるようにしたい。
		【学校説明】 登下校中の交通安全指導キップは昨年より減少傾向にあるが、交通事故報告者は12月末で17件であった。			
		②施設や設備の定期点検の実施及び不具合箇所の修繕等を行い、生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境を維持する。【事務室】	A	A	事務室と用務員の連携をうまくやり、設備維持と環境向上に努めてほしい。特に年数が経過した設備は、生徒の安全面からも修繕は重要である。
		【学校説明】 施設等の定期点検は予定通り実施済みである。修繕は予定していた15件のうち10件を実施済みであり、残る5件も実施予定である。 また、9月の落雷による施設等の破損により緊急的に8件の修繕を実施済みであり、あと2件を実施予定である。			
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実 【市共通項目6】	①生徒自ら正しい健康管理ができ、安全で規則正しい生活習慣を身に付ける。 【保健環境課】	B	B	規則正しい生活が基本である。保護者にも協力してもらえる連携を深めたい。家庭学習の充実にも規則正しい生活習慣は、大切である。
		【学校説明】 生徒自らが健康管理することを目標に掲げたが、特に一年生は生活のリズムを崩しがちであり、高校生活に体調面でも慣れるのに苦労していた。自己管理が理想ではあるが、時には保護者とも協力して環境を整えていきたい。			
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①担任等の教師への連絡を行い、保健室・教育相談室との関係を密にし、心のケアの指導を充実する。【保健環境課】	A	A	すべての生徒が温かい人間関係をつくり、自発的に学習するようさらに援助してもらいたい。スクールカウンセラーとの連携は、素晴らしい。
		【学校説明】 相談室として、担任や保護者と連携し、随時生徒の個々の問題に対応に努めた。スクールカウンセラーからも的確なアドバイスをいただき、それを教員間でも共有し、指導に役立てることができた。			
7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	①土曜授業の開始等により、教職員のワークライフバランスに配慮した校内体制等を整備し、次年度以降の改善につながるよう研究を進める。【管理職】	B	B	振替がしっかりと行われているが、部活動のために休暇が殆どとれていない教員がいると思われるので、さらに工夫も必要である。
		【学校説明】 振替については、長期休業中に推奨日を設定し、取得の目安となるよう提示した。平常授業時においては連続した空時間を設定し、午前・午後ともに振替を取得しやすいよう整えた。取得については更に調整を行いたい。			
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	①生徒への授業アンケートを活用しながら、魅力ある授業づくりを推進し、授業公開・研究授業を実施する。【研修課】	A	A	公開授業や授業評価アンケートによって、意見が多様に出されることは、これからの学校運営のために、プラスになると思う。教員のさらなる力量アップのために研修を望む。
		【学校説明】 アクティブラーニング等先生方が積極的に授業改善や充実に取り組む一年となった。生徒のアンケート結果も全体的に良好であった。			
		②豊かな心を育む読書の奨励と図書館が情報・学習センターとしての機能性をはたすよう整備に努める。【図書課】	B		
		【学校説明】 読書会の実施等、生徒より積極的な働きかけが見られたが、読書数としては例年と同じ数字になった。			
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①学校評議員や公聴活動による教育活動の点検と改善を進めつつ、PTA活動の充実や同窓会等諸団体との連携により教育活動を推進する。【総務課】	A	A	保護者の協力は、PTA活動の大きな力になる。ホームページやメール配信の活用で、保護者等からより多くの力が得られる時代なので、活用を進める。
		【学校説明】 常任評議員を中心に連携を密にし、保護者の協力を得ながら学校行事を円滑に進めることが出来た。ナイトワークの観察援助数は、120名を教えた。			
		②今日的な教育課題に対応できる頼もしい教職員の養成及び危機管理体制を充実する。【研修課】	A		
		【学校説明】 今年度も各課の要望や今日的な課題に関する研修が約10回行われ、充実した職員研修が行われた。			
10 施設設備	(1)リサイクルや省エネの推進	①校舎内外の清掃と美化をさらに進め、電気や紙等の資源の節約を向上させる。また、こまめな消灯や空調の適切管理に省エネを推進する。【事務室】	A	A	用紙の裏面利用の場合、表面が差し障りのない内容のもののみを利用する注意を高めたい。LED灯の省電力化は、中長期的に見て有効である。
		【学校説明】 こまめな消灯や空調の適切管理、用紙の裏面利用等について、職員会議等で啓発した。また、教室の蛍光灯の一部をLED化した。			
11 科学探究科	(1)科学探究科の特色化と指導の充実	①I S E P (Ichiko Science Education Program)の研究開発の推進及び科学探究科での取り組みやノウハウを普通科に還元する。【科学探究科】	A	A	特色あるプログラムが行われている。自分で課題を見つけ、自分で探究し、分かったことを発表する。これには誰にも必要なことであり、普通科にも広げたい。
		【学校説明】 大学の先生を招いての講義を土曜授業の午後に設定し、普通科の生徒にも希望を取って実施した(2回)。			
		②少人数指導授業の工夫及びICT機器を活用した指導教材の研究と開発を進める。【科学探究科】	B		
		【学校説明】 各教科とも工夫をしていたが、全体への広がりという点ではまだ課題がある。			
		③課題研究の充実及び理数科研究発表会、科学技術コンテスト等に積極的に参加する。【科学探究科】	B		
		【学校説明】 課題研究は例年以上に活発に活動できた。各種発表会等についても昨年と同程度に参加できた。			
		④海外科学研修や生徒海外語学研修等を通して、国際社会に目を向けた生徒を育成する。【科学探究科】	A	A	課題発表は、充実しているように感じる。リーダー的な資質と国際的な視野を持ち、将来は各場面で活躍出来る人材になるように育成したい。
【学校説明】 海外科学研修は場所をサンフランシスコ(ヨセミテ公園、スタンフォード大学等)に変更し実施した。1から組み立てたこともあり、生徒にとっては非常に充実した研修となった。					

学校から 経営のまとめ(成果と課題)	
<p>今年度、市の研究指定事業として土曜授業が実施された。これまで7時間目のあった平日の授業が6時間になったことで、放課後の活用が広がりを持ち、自主学習・委員会活動・研究活動・部活動がさらに活発に行われた。しかし、土曜授業日と各大会の実施日が重なり、公欠になる生徒も多いことから、今後さらに検討や整備する必要がある。</p> <p>SSHは、5年間の指定期間の3年目を迎え、中間報告を実施し、JSTの評価を受けて課題も明らかになった。特に校内の評価体制を整備し、活動を科学探究科から普通科にも広げていくことが肝要である。</p>	

学校関係者評価委員会まとめ	
<p>全教職員が良い学校にしようと、実践していくことに生きがいを感じているようにも思う。基盤を再構築し、創造への雄飛を遂げる時ととらえ、市高の将来を見据え、事業を具体化して頂きたい。</p>	